女子中長距離ブロック 10000mW 玉利朱音

――その種目の魅力はどんなところにありますか。

玉利:独特なルールがあり、フォームに対して違反や失格を取られるところだと思います。決められたルールの中で、いかに楽に速く歩けるかが大切になる競技です。選手一人一人のフォームにも個性があり見比べると面白いので、ぜひ注目してみてください!

競歩は速さだけでなく形も判断される競技なんですね!複雑な種目で大変そうです…!

――チーム代表としての心持ち(限られた人しか出ることのできない日本インカレの選手として出場される心情などをお聞かせください)

玉利:入学時から絶対に出たいと思っていた大会で、4 年目にして最初で最後の出場になります。3 年間この大会に出るチームメイトの姿を間近で見てきて、尊敬や憧れ、悔しさなど様々な思いを抱えていました。なので、私がこの大舞台で全力を尽くす姿を見てもらうことで、チームメイトの誰かの心を少しでも動かすことができればいいなと思います。

4 年目で初出場。たくさんの思いを抱えて立つスタートラインは緊張しそうですね…!誰かの心を動かすレースを期待しています!

――一緒に戦ってきたチーム学芸大学陸上部のいい所はどんなところだと考えますか。

玉利:ブロックや学年関係なく全力で応援するし、互いを気にかけて声をかけ合えるところです。ベストを出した時、大会で入賞した時には今まであまりお話したことのない先輩や後輩にも声をかけてもらえて本当に嬉しかったですし、モチベーションになりました。普段の練習でもメニュー中に声かけて応援してくれるし、頑張ったら褒めてくれるし本当に皆優しいです!私もみんなにポジティブな声かけができるよう頑張ります。

練習中の声掛けはどのブロックも垣根を超えてしてくれますよね!みんなが暖かい学芸陸上部、その一体感を京都の地で見せつけましょう!!

――ここに来るまでに(又は標準を切るまでに)強化して練習してきたことや日本インカレで見てほしいことはありますか。

気合いです。自分に甘くならないよう、特にポイントの日はメニューを絶対にやり切る強い意志を持って臨んでいます。今年の夏は暑い中でも納得のいく形で練習をやり切れることが多かったです。技術的な面で言うと腕振りを抱え込みすぎないよう、下の位置で出来るだけ後ろに引くことを意識しています。ただスピードを出す練習だと中々意識できず、改良中です。

気合い、、、!練習に対する思いがとても強いのが感じます!単純そうで 1 番大切なのは気持ちですね!